

藤原姓
伊藤

校了

伊豆国押領使工藤三郎犬房丸大和守
祐時十三代之孫日向國都之城主伊東
左京大夫從四位下義益二男

祐益ヤス

与右衛門尉

永祿年中三州江罷下リ今川氏真
御手切之節属御味方野田御合戦之時
有軍功其後小牧御陣之砌者川井
弥佐御供仕候

祐友

七兵衛

忠長卿ニ奉仕薨去之後流浪○明曆
二酉年十二月七日死麻布臺雲寺葬

宗信

七郎兵衛

慶安二丑年竹橋御殿御広鋪
添番○寛文元丑年
順性院様へ被為附御座敷御番筆頭
役○其後病免延宝六年四月廿三日小普
請ニ而死同寺に葬る

是迄重修譜ニ疑し
ければ不載となり

宗冬

文右衛門

延宝六年七月晦日桜田御殿に於て 同年十二月十九日家督○桜田御殿
火之番御徒目付御破損奉行等○宝永
七寅四月十七日小普請ニ而死同寺葬る

文昭院殿西城に入まふとき
御家人となる

貞享五年九月廿一日
元禄八年二月廿二日
同年二月廿五日病免

元年西丸へ召連らる同

以下略